

第3回スピントロニクス国際ワークショップ
The 3rd RIEC International Workshop on Spintronics, Solid-State
Quantum Information technology
-Spin, Photon, and Superconductivity-

開催日：平成19年10月31日（水曜日）～11月1日（木曜日）（2日間）

開催場所：東北大学電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設

第23回通研国際シンポジウム、The 3rd RIEC International Workshop on Spintronics, Solid-State Quantum Information technology -Spin, Photon, and Superconductivity-（第3回スピントロニクス国際ワークショップ、固体を用いた量子情報技術-スピン、光子、超伝導-、組織委員長：枝松圭一教授、組織委員：中島康治教授、大野英男教授、小坂英男准教授、佐藤茂雄准教授、大野裕三准教授）が、平成19年10月31日、11月1日の二日間にわたり、東北大学電気通信研究所ナノ・スピン実験施設で開催されました。本ワークショップは、近年目覚ましい進展を遂げている固体を用いた量子情報通信技術に関する分野で活躍する内外の一流研究者をお招きし、その現況と今後の方向性について議論するために企画されました。日本、米国、ドイツ、オランダ、スイス、イスラエルからの14名の招待講演者により、各々の分野における最新の研究成果が紹介され、内外からの68名の参加者との間で極めて活発な討論と情報交換が行われました。スピン、光、超伝導を用いた量子情報通信技術の分野においては本学の研究グループが世界最先端の研究成果を挙げており、それらのグループと世界の一流研究者との間で分野横断的かつ活発な交流が行われたことも大変有意義な成果でした。本国際シンポジウムの開催にあたり、ご支援を賜った各位に心より感謝申し上げます。